

桜区防災ニュース

第34号（令和6年4月）

桜区自主防災会

<https://sakuraku.org>



地震への事前の備えを !!!

令和6年度の始まりにあたり、改めて防災減災へのご協力をお願い申し上げます。

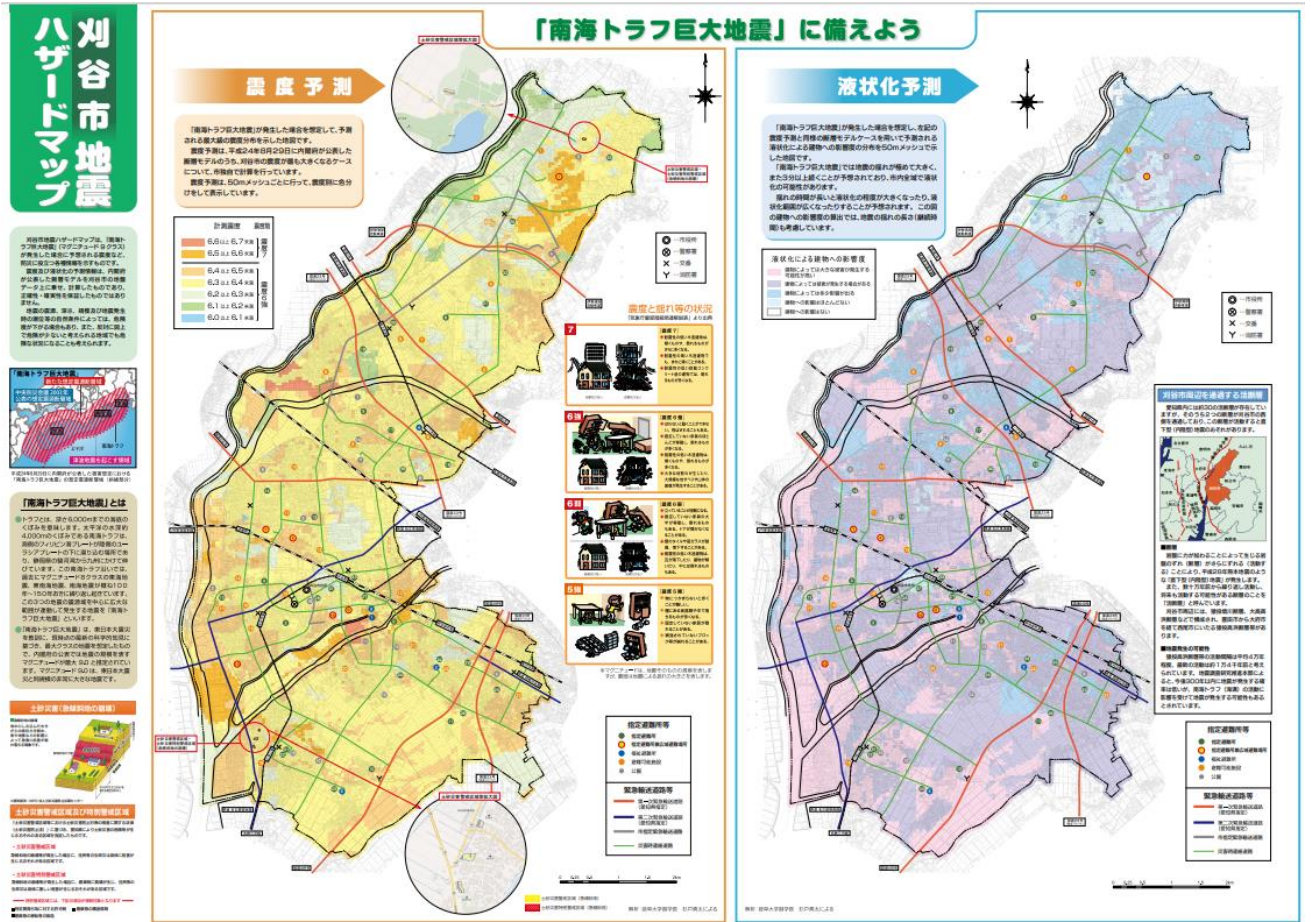
本年1月1日に発生した能登半島地震から3か月経過しましたが、復旧復興にはまだまだ時間が掛かりそうです。防災ニュース1月号でも紹介した「事前の備え」に関する下記内容を、再度掲載しますので、今一度各家庭で見直しをお願いいたします。

事前の備え、再点検を !!!

- ◇ 建物の耐震化
- ◇ 家具の固定・ガラスの飛散防止対策
- ◇ 避難場所、避難経路の確認
- ◇ 備蓄品、非常持ち出し品の確認
- ◇ 災害・避難情報の入手方法
- ◇ 家族の連絡方法

刈谷市地震ハザードマップによると、「南海トラフ地震」が発生した場合、桜地区は最大震度6強が予測されています。また液状化により、建物によっては被害が発生する可能性がある地域となっています。

現在の科学では地震の予知は難しいとされています。このため、常日頃からいつ起きてもおかしくはない大地震に対して、「事前の備え」をしておくことが、私たちにとって今最も重要な事であると思います。



QRコードを読み取ると上記ページにアクセスできます

***一口メモ “液状化” とは**

液状化は、振動により地質に含まれる地下水の水圧が変化し、砂同士の結びつきが弱まることで起きる現象です。

液状化により、道路の隆起やひび割れ、水道管の破裂、電柱の傾き、マンホールの浮上、建物の沈みこみ・傾き、泥水の吹き出しなどが起こります。液状化は震度5程度以上で発生しますので、震源から遠い地域であっても注意が必要です。